

ゴールデンウィークの診療に関するお知らせ

当院では、ゴールデンウィーク期間の診療体制は4月27日(土)、4月30日(火)~5月2日(木)も通常通り開院いたします。

4月27日(土)	開院日
4月28日(日)	休院日
4月29日(月)	休院日
4月30日(火)	開院日
5月1日(水)	開院日
5月2日(木)	開院日
5月3日(金)	休院日
5月4日(土)	休院日
5月5日(日)	休院日
5月6日(月)	休院日
5月7日(火)	開院日

ゴールデンウィーク

京都府がん診療推進病院

三菱京都病院

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

救急告示病院 人間ドック・健診施設機能評価認定施設
日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省指定臨床研修病院

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地
TEL 075-381-2111 FAX 075-392-7952

<http://www.mitsubishi-hp.jp>

予約専用ダイヤル **075-381-7811**

セカンドオピニオンをご希望の方は予約専用ダイヤルにお電話ください。

がん相談窓口(患者支援センター)【(月~金) 10:00~16:00】
TEL:075-381-2111 FAX:075-392-7952



ACCESS



阪急電車

■京都線「桂駅」下車北へ徒歩15分、タクシーで約5分

車

■京都方面からは西大橋から信号4つ目左折50m左折
■亀岡方面からは阪急のガードを越え、次の信号右折50m左折

市バス

■73系統(京都駅~洛西バスターミナル)上桂前田町下車徒歩3分
■70系統(太秦天神川駅前~JR桂川駅)上桂東ノ口下車徒歩5分
■69系統(みぶ~桂駅東口)上桂西居町下車徒歩10分

京阪京都交通バス

■27・21系統(桂坂中央~京都駅前)上桂前田町下車徒歩3分
亀岡・園部方面から27・21系統への乗り継ぎは、1・2系統国道中山(下車)乗り換え

無料送迎バス

■阪急桂駅西口より約20分間隔で運行中
※開院日以外は運休しています。

【平日】

時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33
12時	50	43
13時	10 30 50	03 23 43
14時	10 30 50	03 23 43
15時	10 30 50	03 23 43
16時		03 23 43

【土曜日(開院日のみ)】

時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33
12時	50	43
13時	10 30 50	03 23 43



※予告なく変更・中止する場合がございます。
※道路事情・その他諸事情により乗車場所が移動する場合がございます。
※定員オーバー、交通事情により遅れる場合があります。ご了承ください。
※開院日以外は運休しています。

CONTENTS

巻頭特集

感染症のおはなし

TOPIC

専門看護師のご紹介
患者満足度調査のご報告

突撃! 病院調査隊!!

臨床工学技士

管理栄養士の
季節のレシピ

春キャベツと
豚肉の塩昆布和え

理学療法士が紹介!
健康ストレッチ 第2回

腰痛予防に効く
ストレッチ

himawari

コミュニケーション誌「ひまわり」

2019 SPRING Vol. **56**



三菱京都病院

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

感染症のおはなし

去年は、感染症のことがたくさんニュースになった年でした。

春には沖縄を中心に麻疹（はしか）が瞬く間に流行し、

100人以上が感染しました。

風疹も夏にかけて、関東を中心に大流行しました。

今回は、感染症のお話をしたいと思います。

流行を繰り返す麻疹・風疹

麻疹は麻疹ウイルスが原因でおこります。現代ではワクチンが普及してかなり患者数が減り、2015年にはWHO（世界保健機関）に「排除状態（国内での流行がなくなっている）」と認定されました。しかし、ワクチンの接種が不十分な人たちの間で、散発的に流行を起こしています。

麻疹はひとたび発症すると有効な治療方法がなく、症状をやわらげる治療をおこないながら自然に治癒するのを待つしかありません。さらに、肺炎や脳炎を起こして重症化し、後遺症を残すこともあります。今でも発展途上国ではたくさんの方が麻疹で亡くなっています。しかも感染力が非常に強くて、麻疹に対する免疫（抗体）がなければ、麻疹の患者とすれ違ったり同じ空間にいるだけで感染します。関西でも麻疹の報告がありましたので注意が必要です。

麻疹かどうかは医療機関で診察して判断してもらうことになりますが、もし本当に麻疹であれば病院的待合室などで抵抗力のない他の人にうつしてしまう危険性もあります。もし麻疹を疑う症状（かぜ症状・高熱・発疹のすべて）があつて医療機関を受診する場合は、受診の前にまず医療機関にご相談してください。



総合内科 医長
感染症専門医
堀田 剛
(ほった こう)

また、風疹も首都圏を中心に流行し、2018年はここ10年間で患者数が3番目に多い年となりました。風疹は麻疹と比べて症状は比較的軽いですが、妊娠初期の方が感染すると赤ちゃんが死産となったり、心臓の奇形・高度の難聴・白内障など生涯にわたる後遺症（先天性風疹症候群）を残してしまいます。

麻疹や風疹は、ワクチンで抗体をつけることで大部分が予防できます。麻疹・風疹ワクチンは2回の接種が必要ですが、1回または全く受けていない年代の方がいます。麻疹は1990年以前に生まれた方、風疹は1987年以前に生まれた方は注意が必要です。ご自身のワクチン接種歴を確認していただき、接種回数が不明、もしくは不足している方は医療機関で抗体検査を受けてください。麻疹や風疹を広げないためには、ご自身がかからないようにすることが大切です。



忍び寄る耐性菌

昨今では薬剤耐性が問題になっています。薬剤耐性とは、抗生物質（抗菌薬）が菌に対して効かなくなることです。現在、世界中でこの薬剤耐性が問題になっていて、今まで治療できていた感染症が治療できなくなってしまうおそれが出てきています。このままでは、数十年後には世界中でがんよりも多くの人が耐性菌が原因で亡くなるようになるだろう、とWHOも警告を出しています。

例えば「念のため」ということで抗菌薬が処方されることがあります。抗菌薬は「細菌」には効果を発揮しますが、「ウイルス」が原因の風邪に対しては抗菌薬が効きません。このように抗菌薬が使用されすぎたことが耐性菌を生み、蔓延させる原因の一つになっています。



感染管理に対する当院での取り組み

感染症はまず予防が大事です。当院は感染管理認定看護師や事務職員が中心になって、全職員に感染予防のためのワクチン接種を推進しています。

また、昨今院内感染が新聞をにぎわせていますが、感染症が病院内で拡散しないようにすることも病院としてのはたらきを保つために大切なことです。感染症の拡散を防ぐためには、それぞれの感染症がどのよう

にして伝染していくかを知ることが大切ですが、その専門的知識を持った感染管理認定看護師と連携して院内感染の防止に努めています。

さらに、抗菌薬を適切に使用する取り組みもおこなっています。感染症は、ただ単に抗菌薬を点滴するだけでなく、「体のどこで何がおこって、どんなもの（原因菌）が悪さをしているか」をつきとめないと、適切に治せません。当院では、感染症専門医に加えて、感染症の原因菌を調べる臨床検査技師・感染症治療の専門的知識を持った感染制御認定薬剤師・感染管理認定看護師で構成されるチーム（Antimicrobial Stewardship Team: AST）で感染症を適切に診断治療し、正しく抗菌薬を使用していくことを推進しています。

このように感染症治療・院内感染対策に関わる業務は多岐にわたります。当院では、各種の専門的知識を持った医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技士が感染制御チーム（Infection Control Team: ICT）として連携し、病院・患者さんを感染症から守ることに日々取り組んでいます。



専門看護師のご紹介

専門看護師は知識と技術を深め、

水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

このたび1名の老人看護専門看護師が誕生しましたので、ご紹介いたします。

老人看護専門看護師の役割

高齢者個人はもちろんご家族・地域・関連組織・医療チームと関わるなかでリーダーシップをとり、高齢者一人ひとりに包括的なケアを提供・提言していく役割を果たします。

老人看護専門看護師



松下 侑太

(まつした ゆうた)

2018年12月より老人看護専門看護師に認定された松下侑太です。

2025年には団塊の世代が高齢者となる中で、高齢者看護を提供することが非常に重要だと考え、老人看護専門看護師の資格習得を目指しました。老人看護専門看護師の役割として、高齢者に関わる、実践、教育、相談、倫理調整、研究などが一般的に求められます。堅苦しい言い方にはなりませんが、私は『高齢者に関する相談』にはなんでもお答えしたいと考えています。特に、認知症に対するケアを中心に一緒に考えていき

たいと思います。日ごとに変わる治療薬、よくなったと思えばまた現れる症状など、認知症がなくても理解が及ばないことは多々あります。この一つ一つに丁寧に説明や実践をおこなうことがケアだと考え、最期の時までその人らしく過ごせるようサポートしていきます。また、ご家族の方が持つ介護や自宅療養での不安などを一緒に考えて支援していくことも重要であると考えています。



これらを実現するために、今後、高齢者対応委員会を中心に、在宅療養を見越した細やかにその人らしい看護を提供出来るようチーム活動をおこなっています。

また病院内では、患者さんに大きなストレスがかかることにより自分がどこにいるかわからなくなってしまうことや、訳も分からず点滴の管を抜いてしまう『せん妄』という症状が問題となることがあります。せん妄症状は入院期間の延長などに繋がることもあり、適切に対処することが必要です。せん妄対策には、身近でケアをおこなっている看護師の力がとても重要であると言われていいますので、看護師が中心となってせん妄の原因となっているストレスを考え、取り除き安心して療養生活を送れるよう調整していきます。

これからも各部署と連携をして、継続的にサポートできる環境を整えていきます。

患者満足度調査のご報告

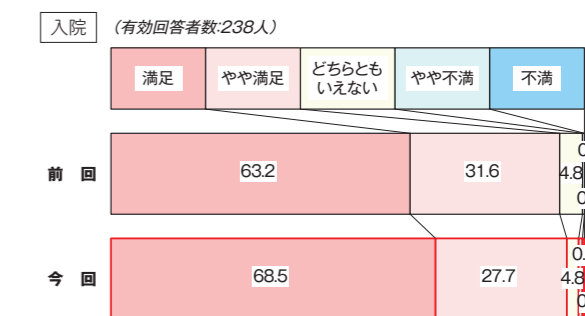
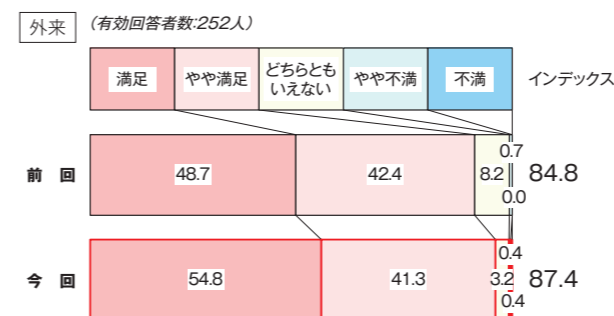
当院では患者さんに当院への評価・満足度を把握し、問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的として平成19年より毎年患者満足度調査をおこなっています。ご協力いただいた方々に感謝申し上げるとともに、調査結果の一部をご報告いたします。

過去5年間で最高評価

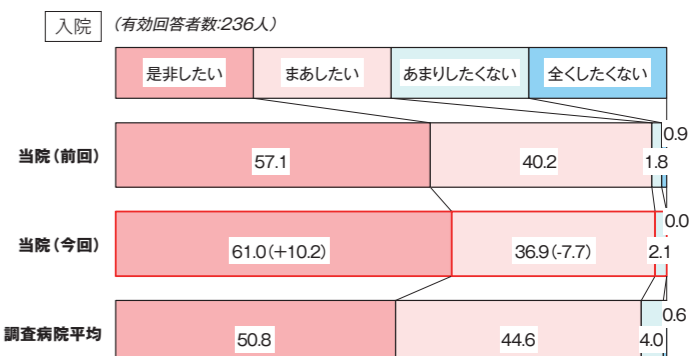
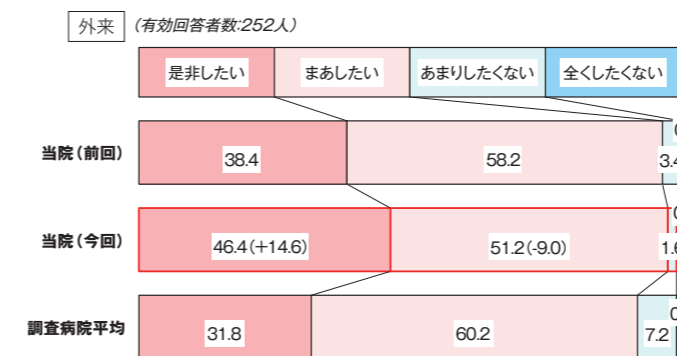
入院・外来ともに総合的には満足と答えた人が多く、過去5年間で最も高い評価です。また、「知人等に当院を紹介や推薦したいと思われますか」という質問にも、「是非したい」・「まあしたい」が97.6%(外来)、97.9%(入院)です。「是非したい」の割合は、調査病院平均と比べ高く、前回の調査からは外来・入院共に増加しました。

これは過去5年間の調査結果でも最も高い評価です。一方で「したくない(あまり+全く)」との評価が2.4%(外来)2.1%(入院)です。この結果を真摯に受け止め、問題点の改善をおこない、さらなる向上を目指し、今後も皆さまが安心してご利用いただける環境づくりを進めます。

総合満足度



知人等に当院を紹介や推薦したいと思われますか?



アンケート調査概要

【入院患者満足度調査】

病室を回り手渡しで配布し、院内設置の回収箱及び郵送返送の併用方式で回収

- 調査実施日：平成30年5月15日～8月21日
- 配布数500件（有効回収数272件・有効回収率54.4%）

【外来患者満足度調査】

再来機で手渡しで配布し、院内設置の回収箱及び郵送返送の併用方式で回収

- 調査実施日：平成30年11月12日～11月15日
- 配布数500件（有効回収数316件・有効回収率63.2%）

突撃！ 病院にまつわる「ハテナ？」をレポートします！ 病院調査隊！！

file 09 臨床工学技士

病院にまつわる気になることを調査するコーナー。
今回は医療機器管理などをおこなう臨床工学技士をご紹介します。

当院の臨床工学技士のお仕事

臨床工学技士は、医用工学機器の操作・管理を中心に、清潔介助や電子カルテシステムのメンテナンス、医療機器の選定など、医療機器の専門家として幅広く活躍しています。
そんな臨床工学技士のお仕事に迫ってみました。

1 ME機器管理部門



院内全ての部署で使用される医療機器の中央管理、メンテナンス、修理対応をしています。

2 手術室部門



手術で使用する様々な医療機器の保守・管理や清潔介助をおこなっています。

3 内視鏡部門



検査ごとに内視鏡に不備が無いが、詳細に確認し、検査の補助をおこなっています。

4 循環器部門



心臓カテーテル検査や、心臓血管外科手術における人工心肺、ペースメーカー植え込み、アブレーションなどで用いるさまざまな機器を操作しています。

5 透析部門



看護師と一緒に透析や吸着療法を実施しています。透析室で使用する機器のメンテナンスもおこなっています。

6 集中治療部門



ICU(集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)で生命維持管理装置の管理、点検をおこなっています。

Staff Voice

医療技術は、医療機器の進化により大きく変わってきています。最新の機器・デバイスを用いる低侵襲手術には各部門の臨床工学技士が連携し、安全に治療を受けて頂けるようつとめています。困ったときに頼りになる、専門的かつ幅広い知識、スキルを身につけた臨床工学技士を目指して研鑽を積んでいます。



Trivia まめ知識

より良い医療機器等の提案

幅広い業務領域と医療機器の知識を活用して、臨床現場の実情に合わせた医療機器の提案や、使用した状況などを医療機器メーカーに伝えることで、より安全で効果的な医療機器の開発に協力しています。

管理栄養士の季節のレシピ

健康なからだの基本は毎日の食事です。
季節の食材を使い美味しいメニューをご紹介します。

春キャベツと豚肉の塩昆布和え



材料(2人分)

豚肉……………150g	ごま油……………小さじ1杯(4cc)
春キャベツ……………100g	塩昆布……………4g
人参……………30g	かつお節……………1g
酒……………大さじ1杯(15cc)	

作り方

- ①酒、ごま油、塩昆布と豚肉を混ぜ合わせる。
- ②人参をピーラーで薄切りにし、耐熱容器に入れる。
- ③②の上にキャベツをちぎって半量入れ、①をのせて残りのキャベツをかぶせる。
- ④ラップをふんわりかぶせ、電子レンジで5分加熱し、全体を混ぜ、そのまま冷ます。

栄養量

エネルギー	325kcal	炭水化物	5.2g
たんぱく質	12.3g	塩分	0.5g
脂質	26.8g		

理学療法士が紹介！

自宅で簡単にできるストレッチを理学療法士がご紹介するコーナーです。
寝たきりにならないため筋肉を鍛えたり、仕事で疲れたカラダをほぐしましょう！

健康ストレッチ

第2回

腰痛予防に効くストレッチ



理学療法士
平山 善康
(ひらやま よしやす)

今回は『腰痛予防』に効くストレッチをご紹介します！ご高齢の方、デスクワークの方、長距離ドライバーの方など、腸腰筋をストレッチすることで腰痛予防ができます。



立ったまま



椅子を使用



寝ころびながら

ポイントアドバイス！

足の付け根をゆっくり30秒かけて伸ばす。
立ったまま・椅子に座って・寝ころびながら…。
両足30秒かけて伸ばします。
痛い時にはやらないことも大切です。
無理して伸ばすと逆に痛めてしまいます。

『腸腰筋』が堅くなることで腰痛を引き起こします。また、足と上半身をつなげる唯一の筋肉である『腸腰筋』を伸ばすことにより背骨のきれいなわん曲をつくります。『腸腰筋』の柔軟性を保ち、背骨のわん曲をきれいに保つことで腰痛の緩和につながります。